

◆開催内容

日時 : 2015 (平成27) 年6月11日(木) 16:40~18:10
 場所 : 京都ノートルダム女子大学ユージニア館3階 アクティブラーニングスペース
 テーマ : 「大学院FD -学内教員によるディスカッション-」
 コーディネーター : 京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 鷲見 朗子 教授

◆アンケート集計結果

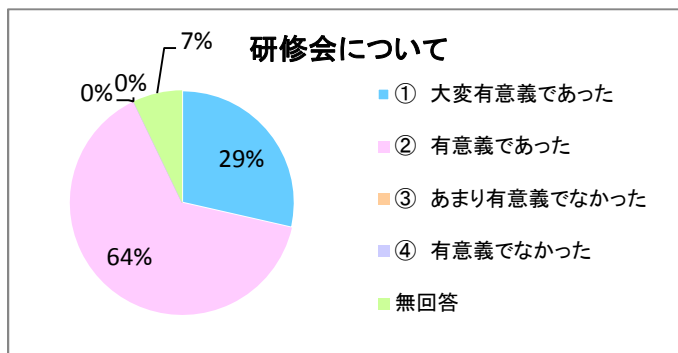
参加者数 19 名
 回収数 14 部 (回収率74%)

問 1 所属について

所 属	人数	割合
① 教員・英語英文学科	1	7.1%
② 教員・人間文化学科	5	35.7%
③ 教員・生活福祉文化学部	2	14.3%
④ 教員・心理学部	5	35.7%
⑤ 職員	1	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%

問 2 研修会について

選択肢	人数	割合
① 大変有意義であった	4	28.6%
② 有意義であった	9	64.3%
③ あまり有意義でなかった	0	0.0%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	1	7.1%
合計	14	100.0%



問 3 会場について

選択肢	人数	割合
① 適当であった	13	92.9%
② 適当でなかった	1	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	14	92.9%

② 適当でなかった理由について
 他のグループの声が聞こえすぎる

問 4 今回の研修内容について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

1	他学科の様子がよくわかった。
2	大学院の運営について (how) の濃密な話し (合い) ではあったが、何よりも大学院研究のあるべき姿、本質の議論が (what) 聞かれなかったのはまことに残念!! 砂上の楼閣… それから「キャリア=就職」のようなコンセプトでの話し合いは、出発時から不毛です。
3	本学の研究科の実態がよく分かりました。
4	大学院についてのディスカッションは初めてだったので、今後もやれば良いと思った。本専攻の教員が少なかったのが残念でした。
5	3専攻での話し合いの難しさを実感しました。
6	継続して、やってほしいです…
7	トピックを絞って、一つあるいは二つのことを話し合った方がよかった。